

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (前回審議会時)	実際に取り組んだことと評価 (修正後)	年次報告書 掲載頁
自然との共生	〈1〉 生物多様性 への取組	③	環境イベント等において情報発信を行い、自然と人との共生につながる生物多様性に関して市民の理解を深めます。	環境政策課	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の自然保護活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、貴重な自然環境について説明をした。	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の自然保護活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。令和6年1月には、鴨川の冬鳥観察会を実施し、地域に生息している野鳥の観察を通して環境保全に対する啓発を図った。	9・10頁
		④	市内に生息している動植物の種類や生息環境を知るため、市民参加による自然観察会を行います。	環境政策課	令和5年12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催した。より多くの方に参加いただけるように、広報誌、ホームページ以外にも、イベント案内希望者や地元事業者団体などにも案内を出し、周知した。	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の自然保護活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。令和6年1月には、鴨川の冬鳥観察会を実施し、地域に生息している野鳥の観察を通して環境保全に対する啓発を図った。	
	〈2〉 自然との ふれあいの促進	①	市民が自然とふれあう機会を増やすため、市民団体や事業者と協働し、学習・体験教室などの体験型環境学習を充実させます。	みどり公園課	自然学習館におけるイベントでは、広報誌やホームページ等でイベントの周知を行い集客に努めた。	自然学習館におけるイベントでは、広報誌やホームページ等でイベントの周知を行い集客に努め、市民団体等から提出された写真や絵画を展示した写真展や絵画展を開催した。その他にも、自然や天体等の観察会を定期的に開催し、植物や昆虫等に関する体験型イベントを開催することができた。	11・12頁
		③	市民が自然とふれあう機会を増やすため、自然観察会などの体験型環境学習を充実させます。	環境政策課	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の自然保護活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の環境保全活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。令和6年1月には、鴨川の冬鳥観察会を実施し、地域に生息している野鳥の観察を通して環境保全に対する啓発を図った。	
		④	市民がふれあえる自然を守るため、市民団体や事業者が行う自然環境の保全活動を支援します。	環境政策課	上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	上尾ものづくり協同組合や領工会、環境保護団体と協働して環境保全活動を実施した。また、上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	
	〈3〉 緑地の 保全・創出	⑤	身近な自然や公園を維持管理するため、市民や事業者との協働による緑のパートナーシップ制度の適切な運用に努めます。	みどり公園課	公園管理協定を締結できる団体等を市ホームページで募集した。	R5年度末現在で、43団体63公園において緑のパートナーシップ制度（公園管理協定）により公園の管理作業が実施された。また、新たに、公園管理協定を締結できる団体等を市ホームページで募集したが、R5年度は応募がなかった。	13・14頁
		⑦	まちの緑を維持するため、公園の樹木などを適切に管理します。	みどり公園課	指定管理業務により樹木を適切に管理している。指定管理者の上尾市地域振興公社は、長年、市内の都市公園の指定管理業務を行っており、樹木管理について豊富な知識と技能を有している。	長年、市内の都市公園の管理業務を行っており、樹木管理について豊富な知識と技能を有した指定管理者により、公園の樹木などを適切に管理した。	
		⑩	市街地に残る農地や生産緑地を貴重な緑の空間として位置づけ、その保全を図ります。	みどり公園課	令和4年度に特定生産緑地制度が開始され、約90%の指定同意を得たことで、緑地率の維持につながっている。令和5年度より、緑地率を増やしていくために、生産緑地の追加指定の募集開始した。令和6年度には、生産緑地として指定される。生産緑地の管理手法として、市民農園の開設がしやすくなったことをホームページ等で周知した。	令和4年度に特定生産緑地制度が開始され、約90%の指定同意を得たことで、緑地率の維持につながった。令和5年度より、緑地率を増やしていくために、生産緑地の追加指定の募集を開始した。また、生産緑地の管理手法として、市民農園の開設がしやすくなったことをホームページ等で周知した。	
		⑫	地域農業を活性化させるため、直売施設の充実や「あげお朝市」に対する支援や地場産品の学校給食への活用など地産地消を促進します。	農政課	令和5年度は「あげお朝市・タ市」を14回、「あげお軽トラ市」を10回、「トマト市」を6回開催した。その他市内イベントに参加し、地産地消に向けた地元野菜PR活動を行った。	令和5年度は「あげお朝市・タ市」を14回、「あげお軽トラ市」を10回開催し、3年ぶりに「トマト市」を6回開催した。その他市内イベントにも参加し、地産地消に向けた地元野菜PR活動を行った。また、学校保健課と連携し、学校給食納入を希望する農家とのマッチングを行った。	
公害の防止	〈8〉 その他の 公害の防止	⑩	アスベストによる健康被害を防止するため、アスベストを使用している民間建築物を把握します。	建築安全課	アスベストの分析調査費用の補助について、市ホームページ及び広報あげおにより情報提供を行った。	中規模（500㎡から1000㎡）の民間建築物で吹付アスベストが使用されている可能性のある建築物の所有者にアンケートを行うためのアスベスト台帳の更新を図った。また、アスベストの分析調査費用の補助について、市ホームページ及び広報あげおにより情報提供を行った。	25・26頁
快適環境の構築	〈9〉 公園の整備	③	身近な自然や公園を維持管理するため、市民や事業者との協働による緑のパートナーシップ制度の適切な運用に努めます。【施策<3>⑤と同じ】	みどり公園課	公園管理協定を締結できる団体等を市ホームページで募集した。	R5年度末現在で、43団体63公園において緑のパートナーシップ制度（公園管理協定）により公園の管理作業が実施された。また、新たに、公園管理協定を締結できる団体等を市ホームページで募集したが、R5年度は応募がなかった。	27・28頁
		④	身近で自然とふれあい、学べる場を守るため、公園の維持管理に努めます。	みどり公園課	指定管理者による公園の適切な維持管理に努めた。	長年、市内の都市公園の管理業務を行っており、樹木管理について豊富な知識と技能を有した指定管理者により、公園の樹木などを適切に管理した。	
	〈10〉 農地の 保全・活用	①	都市における農地を保全するため、市民農園の市民への利用促進を図ります。	農政課	市民農園の利用申請を受付け、令和5年度は延べ282件の申請があった。	市民農園の利用申請を受付け、令和5年度は延べ282件の申請があった。区画の利用率は100%であり、既存利用者や利用待機者への案内を継続する。	29・30頁
		②	都市における農地を保全するため、農地所有者への市民農園の開設について周知を行います。	農政課	農地所有者による市民農園の開設について、特定農地貸付法に基づいた市民農園開設相談を受け付けた。	みどり公園課と連携し生産緑地の管理手法の一つとして、市民農園の開設についてホームページで周知した。また、農地所有者による市民農園の開設について、特定農地貸付法に基づいた市民農園開設相談を受け付けた。	
		⑤	地域農業を活性化させるため、直売施設の充実や「あげお朝市」に対する支援や地場産品の学校給食への活用など地産地消を促進します。	農政課	令和5年度は「あげお朝市・タ市」を14回、「あげお軽トラ市」を10回、「トマト市」を6回開催した。その他市内イベントに参加し、地産地消に向けた地元野菜PR活動を行った。	令和5年度は「あげお朝市・タ市」を14回、「あげお軽トラ市」を10回開催し、3年ぶりに「トマト市」を6回開催した。その他市内イベントにも参加し、地産地消に向けた地元野菜PR活動を行った。また、学校保健課と連携し、学校給食納入を希望する農家とのマッチングを行った。	

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (前回審議会時)	実際に取り組んだことと評価 (修正後)	年次報告書 掲載頁
快適環境の構築	〈11〉 環境美化の推進	①	ごみの適正処理とまちの環境を保全するため、道路・河川などの不法投棄ごみの撤去を行います。	建設管理課	道路河川課と合同で道路パトロールを実施しており、現地調査などの際にも注視した。また、河川においても、現地調査などの際にパトロールを併せて実施した。	道路河川課と合同で道路パトロールを実施しており、現地調査などの際にも注視した。また、河川においても、現地調査などの際にパトロールを併せて実施した。市民から通報のあった不法投棄については、適切に処理した。	31・32頁
		⑤	ごみの散乱を防止するため、ごみの分別方法や収集日、リサイクル品の回収日の周知、ごみ散乱防止ネットの設置を指導します。	西貝塚環境センター	ごみ収集カレンダーやごみ分別アプリ等でごみの分別等を啓発するとともに、ごみ散乱防止ネット、ごみ出しルールの啓発看板を必要とする市民に無償で配布した。	ごみ収集カレンダーやごみ分別アプリ等でごみの正しい分別等を啓発するとともに、ごみ散乱防止ネット、ごみ出しルールの啓発看板を必要とする市民に無償で配布した。また、出前講座等でごみ散乱防止ネットの無償配布について周知した。	
循環型社会の形成	〈13〉 ごみの発生抑制の推進	①	家庭ごみの減量化と資源循環のため、ごみの減らし方やリサイクルについて積極的な情報発信を実施します。	環境政策課	出前講座において、ごみの減らし方やリサイクルについて情報発信を行った。啓発資料の「雑紙捨てないで」「くらしレシビ」をイベント等で配布した。	出前講座において、ごみの減らし方やリサイクルについて情報発信を行った。環境推進大会、上尾中学校、大石中学校、上尾駅自由通路でごみ減量に関するパネルの展示・啓発を行った。啓発資料の「雑紙捨てないで」「くらしレシビ」をイベント等で配布した。	37・38頁
		②	買い物時のごみの発生を抑制するため、事業者とともに過剰包装の辞退やマイバッグの持参などを市民に呼びかけます。	環境政策課	出前講座において、過剰包装の辞退やマイバッグの持参などについて情報発信を行った。	出前講座やホームページにおいて、過剰包装の辞退やマイバッグの持参などについて情報発信を行った。また、環境推進大会をアリオ上尾で開催し、マイバッグ持参を啓発するパネルを展示した。	
		⑤	食品ロスを削減するため、フードドライブなどの活動を促進します。	環境政策課	埼玉県より「埼玉県下一斉フードドライブキャンペーンの実施について」の協力依頼があり、社会福祉協議会、子ども支援課、環境政策課共催で、フードドライブを実施した。	埼玉県より「埼玉県下一斉フードドライブキャンペーンの実施について」の協力依頼があり、社会福祉協議会、子ども支援課、環境政策課共催で、フードドライブを実施し、環境推進大会、上尾中学校、大石中学校、上尾駅自由通路で食品ロスに関するパネルの展示・啓発を行った。また、環境推進協議会学習会にて食品ロスを題材にした講座を実施した。	
	〈14〉 ごみの再利用・再資源化の推進	④	使用済み小型電子機器等の適正な処理と資源循環のため、公共施設に回収ボックスを設置して小型家電リサイクルを推進します。	西貝塚環境センター	回収ボックスによる小型家電の回収とリサイクルについて、ごみ収集カレンダーやごみ分別アプリにより啓発している。	小型家電については、本庁舎、各支所・出張所、西貝塚環境センターの9カ所に回収ボックスを設置し、小型家電リサイクルの推進に努めた。また、回収ボックスによる小型家電の回収とリサイクルについて、ごみ収集カレンダーやごみ分別アプリにより啓発した。	39・40頁
低炭素社会の構築	〈15〉 省エネルギー・再生可能エネルギーの推進	⑤	事業所におけるエネルギー使用の無駄を省き、CO <sub>2</sub> 削減・コスト削減を図るため、省エネ診断やエコチューニング等の取組を積極的にPRします。	環境政策課	事業所へ省エネルギー等の環境経営システムの構築を促すため、事業所のエコアクション21取得の推進方法等について検討した。	事業所へ省エネルギー等の環境経営システムの構築を促すため、事業所のエコアクション21取得の推進方法等について検討し、令和6年度に、エコアクション21取得説明会を実施する予定。	43・44頁
		⑥	事業所におけるエネルギー使用量の削減を図るため、事業者に向けて太陽光・太陽熱・コージェネレーション設備（熱電併給システム）等の情報提供を行い、設備更新を促します。	環境政策課	事業所へ省エネルギー等の環境経営システムの構築を促すため、事業所のエコアクション21取得の推進方法等について検討した。	市内事業所を訪問し、脱炭素に関するヒアリングを実施した際に、太陽光・太陽熱・コージェネレーション設備等の情報提供を行った。	
環境活動の活発化	〈17〉 環境教育・環境学習の推進	①	環境への理解を深めるため、環境教育に必要な資料やパンフレット等を充実させます。	環境政策課	環境啓発資料である「くらしレシビ」を新たに作成し、情報更新に努めた。	環境啓発資料である「くらしレシビ」や、出前講座に用いている資料の情報を更新した。また、環境への理解を深めるため、環境推進大会や中学校、上尾駅自由通路にてパネル展示を行った。	51・52頁
		④	市民が自然とふれあう機会を増やすため、自然観察会などの体験型環境学習を充実させます。【施策<2>③と同じ】	環境政策課	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の自然保護活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の環境保全活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。令和6年1月には、鴨川の冬鳥観察会を実施し、地域に生息している野鳥の観察を通して環境保全に対する啓発を図った。	
		⑤	将来にわたって環境活動を継続するため、次世代の環境活動をけん引するリーダーやボランティアなど新たな人材の確保と育成を図ります。	環境政策課 生活環境課	地域の環境美化活動のリーダーとして、令和5年度は環境美化推進員223名を委嘱した。任期は2年である。	環境に関するボランティア人材の確保を目的の一つとして、上尾市環境推進大会で、あげお環境賞を受賞した団体の活動報告や環境保全団体によるミニ講演を実施し、活動の周知啓発を行った。地域の環境美化活動のリーダーとして、令和5年度は環境美化推進員223名を委嘱した。任期は2年である。	
		⑧	市民が自然とふれあう機会を増やすため、市民団体や事業者と協働し、学習・体験教室などの体験型環境学習を充実させます。【施策<2>①と同じ】	環境政策課	上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	上尾ものづくり協同組合や領工会、環境保護団体と協働して環境保全活動を実施した。また、上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	
	〈18〉 協働による環境活動の推進	②	市民がふれあえる自然を守るため、市民団体や事業者が行う自然環境の保全活動を支援します。【施策<2>④と同じ】	環境政策課	上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	上尾ものづくり協同組合や領工会、環境保護団体と協働して環境保全活動を実施した。また、上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	53・54頁
		③	NPO や民間事業者等が市民、行政と協働して行う環境活動に関する情報を収集するとともに、取組拡大に向けて広く周知啓発を行います。	環境政策課	事業者の活動事例として、中学校環境パネル展示及び上尾駅自由通路の環境パネル展示において、市内事業者団体「上尾ものづくり協同組合」の活動のパネルを紹介した。	事業者の活動事例として、中学校環境パネル展示及び上尾駅自由通路の環境パネル展示において、市内事業者団体「上尾ものづくり協同組合」や「領工会」とサクラソウトラスト地の管理作業を共催したほか、埼玉中央青年会議所と共同でSDGsに関する学習会を開催した。	